

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 11 日現在

機関番号：17102

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02642

研究課題名(和文) 植民地・満洲間島における日本人教師の役割に関する研究

研究課題名(英文) A study on the role of Japanese teachers in Manchuria-kando

研究代表者

金 テイ実 (JIN, Tingshi)

九州大学・留学生センター・講師

研究者番号：30733323

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,500,000円

研究成果の概要(和文)：旧満洲・間島(現在の中国東北の延辺朝鮮族自治州)で盛んに行なわれた日本語教育に関連して日本人である斎藤季治郎、鈴木信太郎、川口卯橘、渡部薫太郎、日高丙子郎、工藤重雄、濱名寛祐、樋口芝巖、安東貞元、山崎慶之助、飯塚政之に焦点を当てて彼等の役割を明らかにし、現在に於いても盛んに行なわれている日本語教育のルーツを明らかにしたものである。

研究成果の概要(英文)：In this research focused on Japanese people in relation to the Japanese language education which was actively conducted in Manchuria-kando and clarified their role. Therefore, we revealed the root of Japanese education that is actively being carried out now.

研究分野：日本文化・日本語教育

キーワード：中国東北地方(旧満洲・間島) 日本語教育 日本人教師

1. 研究開始当初の背景

間島の日本語教育の先行研究は、主に「支配 抵抗」という二分法的な歴史視覚から日本語教育は強制された言語教育として強調されていた。そのため、間島朝鮮人が自主的に行った日本語教育については見過ごされており、朝鮮人、日本、中国の三者が各自の思惑によって行った日本語教育を同時に取り上げて研究しようとする視点が足りなかった。

2. 研究の目的

20世紀初期から「満鮮一体」として、植民地朝鮮とともに日本の植民地支配において重視された満洲間島地域において、朝鮮半島と同様の「模範教育」を推進するために教育者として間島に渡った日本人教師達、宗教団体によって派遣された日本人教師達、ある目的を持って間島に渡って日本人教師達の活動を分析することによって間島地域の日本語教育に与えた役割を明らかにすることである。つまり、一口で日本人と言っても様々な考え、思想を以て間島で日本語教育を繰り広げられたことに着目して、彼等の経歴・思想などの研究によって間島における「強制された日本語教育」「自主的に行った日本語教育」に与えた役割を明らかにしようとするものである。

3. 研究の方法

本研究は、文献研究であるため、初年度と次年度はまず、既に収集した史料(長年間かけて中国・韓国で発見・収集したもの)を分析するとともに、補充作業として日本の外務省外交史料館所蔵の「外務省記録」、中国の档案馆と図書館及び韓国の朝鮮総督府関係資料の調査・追加調査を行う。それとともに、史料の整理を行い、三者の史料をすり合わせて検討を行う。最後の年度は調査内容について総合的な検討と分析を行い、三年間の研究

結果を纏める。

4. 研究成果

本研究の研究成果は主に二冊の著書によって纏められる。本研究者の変わらぬ研究上の関心は、「満洲・間島と日本人」というテーマにある。このようにいうと、さして目新しいテーマではないとの指摘を受けるかもしれない。なぜなら、このようなテーマに関する研究は、これまでに多くあるからである。しかし、それは中国や韓国も革命的思想や行動への日本人の関与という近代中国と日本人、或いは近代韓国と日本人の関係の一面を追究したに過ぎない。そのため、間島という一つの地域の様々な分野に関わった日本人を纏めて取り上げようとするのが一冊目の著書の狙いでもある。本研究は、満洲・間島の日本語教育と関連してこの地域に関わった日本人(斎藤季治郎、鈴木信太郎、川口卯橘、渡部薫太郎、日高丙子郎、工藤重雄、濱名寛祐、樋口芝蔵、安東貞元、山崎慶之助、飯塚政之)を取り上げ、誰が、どうして、どのように、どういうことをしたかという事実を明らかにしたものである。これらの研究活動を単著『満洲・間島における日本人-満洲事変以前の日本語教育と関連して-』として上梓した。

また、上記研究の延長線で、2017年7月29日に九州大学にてワークショップ「植民地満洲・間島における日本人教師の役割に関する研究：中国朝鮮族の日本語教育の過去・現在・未来」を行い、槻木瑞生、金斑実、花井みわ、朴仁哲、本田弘之、李東哲、永嶋洋一の共著として加筆・修正し、二冊目の著書『東アジアの社会変動-アジア大陸の少数民族の移動-』を世に出した。科学研究費の申請に当たり研究目的として、20世紀初期から「満鮮一体」として植民地朝鮮とともに日本の植民地支配において重視された満洲間島地域(現在の中国東北部延辺地域に当たる)にお

いて行われた日本語教育について研究するもので、特に間島の日本語教育に関わった日本人教師にスポットを当てて、間島地域の日本語教育に与えた役割を明らかにすることであり、これによって、戦後日本語教育が「地域の外国語教育」として継続・継承された過程の分析につながり、現地における今後の日本語教育の発展に本研究が一助となると考えた。その研究の中で、日本・中国の朝鮮族研究者を集めて中国朝鮮族に対する日本語教育の歴史から現在及び将来像まで描こうとする試みであった。ワークショップ開催後の総会で発表者達の内容から単なる中国朝鮮族の教育・日本語教育だけではなく、アジア大陸の少数民族（中国朝鮮族）の移動から見た東アジアの社会変動であるとの考えを申し出、本書のタイトルを「東アジアの社会変動 アジア大陸の少数民族の移動-」にし、時系列に論文を収録した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計7件)

金斑実「『満洲国』期における延辺地域の日本語教育」『東アジア日本語教育・日本文化研究』21 輯 2018 pp.257-276

金斑実「間島における日本人-工藤重雄を中心に」『韓国言語文化研究』26 号 2017.2 pp.1-19

金斑実「日本人と間島-満洲語学者の渡部薫太郎を中心に」『韓国言語文化研究』25 号 2017.1 pp.69-85

金斑実「日本人と間島-斎藤季治郎を中心に-」『韓国言語文化研究』22 号 2016.1 pp.39-53

金斑実「日本人と間島-川口卯橋を中心に-」『東アジア日本語教育・日本文化研究』19 輯 2016 pp.287-302

金斑実「日本人と間島-曹洞宗大本山布教師・樋口芝巖を中心に」『中日韓比較文化研究』2 号 2016 pp.1-5

金斑実「日本人と間島：鈴木信太郎を中心に」『地域文化研究』12 号 2015.3 pp.127-142

〔学会発表〕(計8件)

金斑実「満洲事変以前における間島地域の日本語教育」『植民地満洲・間島における日本人教師の役割に関する研究：中国朝鮮族の日本語教育の過去・現在・未来ワークショップ』於：九州大学 2017.7.29

金斑実「満洲国期以前における延辺地域の日本語教育」『第五回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム』於：延辺大学 2017.8.19

金斑実「満洲国期における延辺地域の日本語教育」『東アジア日本語教育・日本文化研究学会』於：韓国・仁川大学 2017.8.26

金斑実「間島における日本人-邦字新聞及びそれに関わった人物を中心に」『中日韓日本言語文化研究国際フォーラム』於：中国・大連大学 2016.09.24

金斑実「間島における日本人-工藤重雄を中心に」『アジア教育史学会』於：神奈川大学 2016.07.17

金斑実「日本人と間島-曹洞宗大本山布教師・樋口芝巖を中心に」『第二回中日韓比較文化研究国際学術シンポジウム』於：中国・瀋陽航空航天大学 2015.10.17

金斑実「日本人と間島-川口卯橋を中心に-」『東アジア日本語教育・日本文化研究学会』於：西南学院大学 2015.08.22

金斑実「日本人と間島-満洲語学者の渡部薫太郎を中心に」『第四回中・日・韓・朝言語文化比較研究国際シンポジウム』於：中国・延辺大学 2015.08.17

〔図書〕(計3件)

金珽実(ほか・編著)『東アジアの社会
変動-アジア大陸の少数民族の移動-』

2017.12

金珽実(著)『満州・間島における日本
人-満州事変以前の日本語教育と関連し
て-』2017.3

金珽実(ほか・編著)『満州及び朝鮮教
育史 国際的なアプローチ

Education history in Manchuria and
Korea An international approach 』

2016

6. 研究組織

(1)研究代表者

金珽実(きんていじつ・JIN Tingshi)

九州大学・留学生センター・講師

研究者番号：30733323

(2)研究協力者

槻木瑞生(TUKINOKI Mizuo)

同朋大学・名誉教授

研究者番号：30022396

花井みわ(HANAI Miwa)

早稲田大学・兼任講師

研究者番号：70578476

朴仁哲(PIAO Renzhe、ボクジンテツ)

北海道大学大学院教育学研究院・専門研
究員

研究者番号：90752717

李東哲(LI Dongzhe、リトウテツ)

前延边大学外国語学院日本語科・教授、
現浙江越秀外国語大学東語学院・教授

本田弘之(HONDA Hiroyuki)

北陸先端科学技術大学院大学グローバル
コミュニケーションセンター・教授

研究者番号：70286433

永嶋洋一(NAGASHIMA Yoichi)

大連外国語大学日本語学院・外籍教師